

音楽運動



日本音楽協会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

第59回日音協定期総会開催

日音協は11月12日(土)東京都豊島区・駒込地域文化創造館とオンラインとの併用(ハイブリッド)で第59回定期総会を開催しました。13支部から代議員と役員あわせて21人が出席しました(ほかに委任状1)。



会場風景



ZOOMの参加者

ものの音楽祭を開催できた。新しい仲間を迎える努力をして、第54回長岡音楽祭を成功させよう」とあいさつしました。

金田事務局長の一般経過報告、竹内幹事の決算報告、磯野監査の監査報告を受けて、討論しました。

〈各県支部からの報告〉

東京 12月都支部交流会。2月支部総会。4月東京憲法を守る会とメーデー。5月憲法集会。9月音楽祭、経産省前テント集会、さようなら戦争さようなら原発集会と国葬

反対大集会。10月関東ブロック合同。メーデー合唱団も連合中央メーデーと音楽祭に向けて活動してきた。

新潟 毎月1回音楽祭に向けて練習。自治労の集会、大会でうたをうたった。5月14日、支部総会にあわせて第1回新潟県支部コンサート。8月6日戦争を許さない女性の会の街頭リレートーク。若い仲間が入会。来年の音楽祭に向けて連合新潟に要請、12月に第1回県実行委員会。

北海道 4月9日支部総会から2週間に1回の録音を再開。12曲のうち11曲まで終わり。来年新潟でお披露目したい。8月6日ダイイン集会。笠木博逸さんが入院したが、元気な姿で戻って来たいと言っている。

香川 音楽運動に載せたメーデー。ロシアのウクライナ侵攻踏まえ「ピースアンドハッピー」。メーデー県内3会場の音響を日音協が担当している。青年団結集会でのうたごえを担当。

長野 シグソープズル月1回の集まりがコロナ禍できていなかったがまた始まった。若い人の集まりや創作というセミナーでなくて、全国で音楽祭以外に集まる機会をつくってはどうか、という意見が出た。

(2面につづく)

沖縄 12月笑顔笑顔のクリスマスコンサート。3月春闘決起集会、フクシマと絆を結び沖縄平和音楽祭。5月余儀公園憲法9条の碑の清掃と日音協の沖縄平和行動。7月参院選、9月知事選、10月那覇市長選でうたう。台湾有事を想定した日米共同訓練が行われている。基地優先、沖縄を本土の防波堤にする画策が進む、全国と連携してがんばる。

九州 11月佐賀の母親大会でうたう。11月13日三池大災害抗議集会前段のうたごえ。感染症で集まるのが厳しい。

香川 音楽運動に載せたメーデー。ロシアのウクライナ侵攻踏まえ「ピースアンドハッピー」。メーデー県内3会場の音響を日音協が担当している。青年団結集会でのうたごえを担当。

長野 シグソープズル月1回の集まりがコロナ禍できていなかったがまた始まった。若い人の集まりや創作というセミナーでなくて、全国で音楽祭以外に集まる機会をつくってはどうか、という意見が出た。



提案する金田事務局長



会計報告の竹内幹事



会計監査報告の磯野さん



大会議長の森さん(左)

(1面よりつづく)

福島 昨年10月末に支部総会。2月三春憲法9条を守る会。7月原水禁世界大会は演奏もないが、DVDをつくって集まる前に披露した。8月に構成作品を中心に作品集が完成。8月28日、神田香織講演会の前演奏。10月14日、原発事故避難者の心のケアをしているNPOライフケアの歌声サロンで演奏。11月29日にも。

千葉 2年間、合唱団ミール、練習会場が使えなかったが、音楽祭に向けて京成労働会館で6月下旬から練習再開。月2回ペース、今後も継続したい。

茨城 53音楽祭、全国から集まりありがとう。成功できたと思う。コロナと参院選で不十分だが、連合構成組織の協力を得ることができた。県支部は毎月1回練習は継続しているが参加者が固定してきている。連合の集会も音楽なし。

運輸労連の仲間、全港湾労組とつながりをつくりたい。会費未納を早急に整理する。

秋田 昨年12月総会で事務局長が交代。青森、岩手、秋田で東北北ウェブコンサート演奏者に10団体が演奏。みんな一緒にうたえないこと、そ

山本さん

それぞれのマイク等で音響のレベルがばらばらなことが残念。元気な姿をみることでできたことが成果。秋田県の食と緑と水のフェスティバルで音響とうたの伴奏を担当した。

岩手 支部総会は書面決議。ウェブコンサート、岩手は久慈の教育会館に久しぶりに集まった。全国の音楽祭には参加できなかった。集まることが難しいが来年は総会で集まりたい。

青森 活動の柱である反核燃の日全国集会が今年はリモート開催で、出番がなかった。会員が減って8人になる、半数が年金生活者。若い人とのつながりが希薄、今いる会員との結びつきが大切。音楽祭はひとり参加。コロナでもがんばっていることがわかってよかった。3年前から嵯峨さんの練習を兼ねたミニライブに参加している。コロナ中断もあったが月1回4人ぐらいい集まる。

休憩をはさんで、議案第1号「日音協2023活動方針」と議案第2号「日音協2023年度諸会計予算」を議題として、金田事務局長、後藤幹事、佐藤副会長、坂口副会長、竹内幹事が順に提案しました。討論では「リモートミュージックミーティングは昨年の長野の画像と音が良くなかった。ある程度の画質・音質になるように本部が支援を。ミュージックビデオの作り方を勉強できるように支援を。支部のCD等の作成はどのようにならざるを得ないのか。一般会計から音楽祭特別会計への繰出は15万でなく増額して、100万円ほど繰り越せるように検討してほしい」(北海道)、「昨年の配信の画像は残念だった」(長野)と発言がありました。金田事務局長が北海道の発言についてそれぞれ努力または検討したいと答え、竹内幹事が「音楽祭特別会計の予備費が45万6千円で、金額としては先細り。検討して7月全代でおはかりしたい」と答え、両議案は賛成多数で原案通り決定しました。

役員改選では、せんこうを委嘱された磯野友一さんの全員再任という提案が議長から紹介され、賛成多数で選出されました。

《2023年度新役員》

会長 松本敏之(茨城県支部)
副会長 佐藤康弘(青森県支部)
副会長 坂口美日(東京都支部)
事務局長

金田光弘(茨城県支部)
幹事 細川剛(香川県支部)
幹事 後藤雅裕(秋田県支部)
幹事 竹内崇史(新潟県支部)
幹事 塚本昇(長野県支部)
幹事 根本賢治(千葉県支部)
監査 磯野宏之(北海道支部)
監査 山城文雄(沖縄県支部)

以上で、日音協総会を閉会しました。(松本敏之)



あいさつする山本さん

長岡(新潟)音楽祭 第1回中央実行委員会

総会閉会后、休憩をはさんで第54回はたらくものの音楽祭第1回中央実行委員会を開催。松本会長、そして新潟県支部山本英二事務局長のあいさつを受け、中央実行委員会の結成と構成を確認。音楽祭の具体的な内容について意見を交わし、2023年6月3日、4日、新潟県長岡市で開催する音楽祭を成功させようとして確認しました。(松本)

12月の行動予定	3日	東北北・新潟音楽祭 合唱練習(盛岡)
	4日	福島県支部総会
	11日	都支部コンサート
	15日	秋田県支部総会
	17日~18日	茨城県支部総会・合唱
	18日	沖縄笑顔笑顔のコンサート
	19日	第54回新潟音楽祭・新潟県現地実行委員会
	22日	音楽運動1月号(完成)
	23日	青森県支部定期練習会
	24日	第2回日音協幹事会
1月の行動予定	28日	青森県支部総会・県支部コンサート
2月の行動予定	11日~12日	2023日音協セミナー & 若い会員の交流会
	26日	都支部総会

はたらくものの音楽祭ステージあれこれ話

第二弾《ボーカルとダイナミックマイク(指向性マイク)と『近接効果』の関係》

第一弾では、床置きタイプのバウンダリーマイク(コンデンサーマイク)を使い、マイクを使っていないように見せかけて、実は使っていました!という話でした。

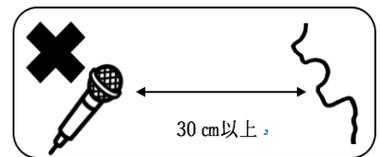
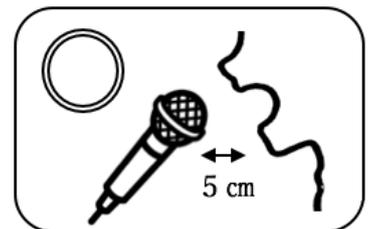
マイクにも色々あるということで、第2弾は、ステージやライブハウスで標準的に使用されている、ダイナミックマイク(以下、マイクに略)について書いてみたいと思います。

ボーカルにマイクを立てるということは、ボーカルが発した声は、電気信号に変換されるということであり、それをPAさんがミキサーで調合し大きな音に増幅されてスピーカーから拡散するという仕組みは、マイクを使って歌おうとする人ならある程度は周知の事実かもしれません。が、マイクの使い方一つで、スピーカーから出てくる音は相当に違ってしてしまうということは、案外知られていないのではないのでしょうか?例えば、練習ではバッチリだったはずのハーモニーが、本番の録音を聴いてがっかりした、というような経験をされたことはないでしょうか?私がマイクの使い方をあれこれ考えるようになったきっかけもそういうことからでした。

そこで、今回はボーカルマイクの上手な使い方を皆様にお知らせしようと考えたわけですが、とは言え私の浅薄な知識では説得力がないので、今年のはたらくものの音楽祭のPAを担当いただいた、日下昇さんにお話を伺ってみました。

ということで以下、日下さんのお話に沿った内容となります。(ちなみに今回の音楽祭でステージに立てたマイクは全てShure58です。)(坂口美日)

マイクとの距離が大事。理想的な距離は5cm。低音域も含め人間の声らしく、幅のあるふくよかな声として再現できる。30cm以上離れると、どんなにPAの方で調整しても低音域の消えた痩せた声にしか再現できない。これは、『近接効果』という指向性マイクの特徴的現象。この現象の理解が鍵。複数での演奏の場合、マイクとの距離や音量による音量的なバランスは、PAでもある程度は調整できるが限界はあるので、それぞれの音量に応じてマイクとの距離を考慮すると良い。



ステージスタッフが、マイクを近づけると後ろに下がってしまう演奏者が多くいます。恥ずかしがらないで、自信を持ってうたいましょう。(佐藤)

第59回三池大災害抗議集会



「今年もよかね?」と実行委員会からの電話で要請があり、59回目の三池大災害抗議集会で歌声指導をしました。

九州支部会員の山中さんと山田さんが応援に駆けつけてくれました。

全員合唱では、「炭掘る仲間」「地底のうた」を歌い、創作曲「オール電化は要らない」も披露しました。(九州支部・三小田 勲)

2023 日音協セミナー開催要綱(概要)

日時: 2023.2.11(土) 9:00~12(日) 15:00

会場: 学園坂スタジオ&第2スタジオ

形式: 若い会員の会と共催

セミナーは例年通り若い会員の会と同時開催という形式で開催します。セミナーのテーマは「創作グループ」と「歌うグループ」に分かれて活動することになります。詳細は検討中です。

講師は「創作」に谷森さん(港さん)と「歌う」に小笠原もずくさんをお願い(ボイストレーニングも)ができないか検討しています。

【講師に要請する内容】谷森さんには「リズムから入る曲作り」をテーマに90分。

狙いは、日音協の作品で使われているリズムは同じようなリズムが多いので、民族音楽・歌謡曲・ロック・フォーク・クラシックなどの特徴的なリズムについて話をしていただき曲想に新たな切り口を見いだすというのはどうか。

【ボイストレーニングのメニュー】

- ・参加者の参加形態 個人参加、グループ参加
- ・歌いたい歌をあらかじめ決めてもらう

※近日中に発文の予定です。

あのころの沖音協

やさしい心を武器にして

沖音協の結成は1987年の4月。そして日音協合宿を沖縄で開催し、6月21日の第1回嘉手納基地包囲行動激励行動を取り組みました。

そのとき歌った曲が「やさしい心を武器にして」です。その後、レコードにもなりました。ジャケット写真には結成当初の若いメンバーが歌っています。(平良昌史)



福島県被災者心の復興事業『歌声サロン』

11月29日午前開催された原発事故被災者の心の復興事業の歌声サロンに、主催のライフケアから演奏の協力を要請され、福島県支部の南條さんと高山さんと3人で参加してきました。

今回は、葛尾村の復興団地が建つ中にある集会所にて、団地に住む被災者の方々20人余が集まる中での開催となりました。葛尾村は、私の生まれ故郷。集まった中には母や叔母さんや知った顔も多く、いささかやりにくさも感じながら、まずはじめに歌ったのは『ふるさと』。コロナ感染拡大が再び勢いを増す中ではありましたが、共通の故郷を思いながら参加者

の歌声がしっかり聞こえてきました。以下8曲、一緒に口ずさめそうな歌を歌った後、亡き父小島力が原発事故で避難する時の思いを歌にした『望郷』と、『よみがえれふるさと』(詩人 高沢陽子 曲 中田広昭)を、南條さんと高山さんが歌いました。そして残り30分はリクエラスト曲でおおいに盛り上がりながらの終了となりました。

終了後、数人の方から「小島さんの歌は初めて聴いた。避難した時のことを思い出して涙が止まらなかつた。」と声をかけていただきました。歌の力を実感したひとときでした。

(坂口美日)

名盤復刻

やさしい心を武器にして



インターネットで「沖音協」を検索すると、dミュージックというところで、「やさしい心を武器にして」がダウンロードできるとのこと。クリックすれば沖音協の収入になるかなと思い、平良さんに聞いてみたが、どこでどうなっているのかわからないという。

視聴もでき、106円でダウンロードできるようだが、この手の扱いには全く疎い。ドコモ関連でdポイントも利用できるようだが、ネット決済など扱い慣れている方、情報を伝授願います。

また、「あのころの・・・」シリーズの原稿・写真など送っていただければ助かります。

(佐藤)

都支部からの活動報告

- 第1月曜日 防衛省前抗議行動で演奏
 - 第1水曜日 東電本社前抗議行動で演奏
 - 第3水曜日 原発いらぬ金曜行動で演奏
 - 毎月19日 総がかり行動で出迎え、送り出し演奏
 - 毎週金曜日 茱萸坂うた行動
- 辺野古新基地建設反対集会、行動等参加

都支部総会報告より

富山で10・21国際反戦デー

10月21日(月)富山駅前のCic前広場において「国際反戦デー富山県集会」が、富山県平和運動センター主催で開催された。

コロナ禍において久しぶりの要請で、集会開会45分前から歌いはじめた。

通りすがりの若い女性二人が立ち止まってしっかり聴いてくれたり、変なおじさん(ごめん!)が、興味深そうにうろろしたり、やりがいを感じた。

(磯野友一)

■富山県支部報告より
アコ研の活動

9月13日射水市の加茂地区高齢者サロンにおいてアコ合奏や独奏を聴いてもらったり、「青い山脈」や「高校三年生」など歌謡曲もうたったりで時間オーバーの90分楽しい時間を過ごした。

また、17日(土)は磯野在住の西田地方校下「敬老の集い」において演奏した。

歌の力が物語るもの 112

茉葉坂つた行動 11/11 (459回) 報告 R.i.c.o

【参加者】スーさん、はしゆきさん、モリヤさん、イサさん、えるもくん、佐藤さん、達哉 計8人

腰が痛むため今日もアコ無し。もうしばらくこゝろを赦ください。

18時ごろ地下鉄を出たのだが、すっかり暗くなっている。これからどんどん寒くなっていくのだな。実りの遅い木の銀杏が歩道に散らばって踏み散らかされている。この季節なのにえるも君は半袖短パンで自転車に乗ってきている。はしゆきさんの話ではえるも君は冬も薄着だそう。えるも君はソプラノリコーダーで、はしゆき

さんと重奏する。リコーダーの素敵なハーモニーだ。経産省前の行動ではモリヤさんと3人で「モリヤさんとその一味」と称されているのか？練習を重ねてすっかり演奏をつくっているグループだ。

佐藤さんが三線を持って登場。まだまだ楽器を増やすのか？すごいな。私はといえば茉葉坂の楽譜集をようやく作って持ってきた。30曲ほどの楽譜集。まだまだたくさん歌はあるけど、安倍政権に絡めたようなのは除いて、歌い続けている歌と、モリヤさんから教えてもらった歌も含めて、佐藤さんとモリヤさんによく渡せた。久しぶりに参加のスーさんが

「なんか、すこくなったな。」と言った。そうなんです、ちょっと楽団のようになってきてます。歌い手ももっと欲しいです。

三線があるから沖縄の歌を、と、『ふるさと沖縄』を歌う。『童神』の楽譜も見つけて楽譜集に加えたので歌った。薄暗い歩道で、楽譜と首つ引きだ。そのあとはひとりずつリクエストを続けていく。『あたりまえの地球』『ああ福島』『風車の唄』『メッセージ』『戦争に力貸さない』『ケサラ』『声よ集まれ歌となれ』等々。楽譜を用意したので大好きな『あなたに届け』も遠慮なくリクエスト。スーさんからは『島人の宝』がリクエストされ、これは楽譜が無いのでうろ覚えで歌った。ああ、『芭蕉布』の楽譜を捜すのを忘れた。先週、思い入れて歌ったのに忘れるなんて。最後の1曲は『原子力発電

NO!」。老朽原発の使用期間を延長するって？運転停止期間を算入しないという話が出ているとか。冗談じゃない。使わなくても劣化は進む。自分らで決めた基準も都合によって解釈を変える。だから信用できないんだ。再稼働も再延長も反対！



(右写真)

「軍事費増やして生活壊すな！改憲反対！カルト癒着の政治をただせ」 11・30 in 日比谷野音行動

※緊急の集会でしたが、日音協はデモ行進の出迎え演奏と送り出し演奏を担いました。(松本)

水道橋だより

▼12月号には「音楽運動読者アンケート」もお送りしています。紙面受け取りの方には同封しています。▼思えば、2008年の7月1日の474号から私の編集になっています。第41回はたらくものの音楽祭秋田祭典の報告特集からでした。▼その後14年、幹事会の中でも古株になってしまいましたが、マンネリになっていないか、運動を伝えきれているのか、「読者アンケート」でうかがうこととしました。▼ちなみに今後も紙面の充実をめざしていきますのでよろしくお願いいたします。▼なお今12月号の1面2面は試しに10・5ポイント(いつもは基本10ポイント)の大きさの字体にしました。私自身焦点がぼやけ気味になっていますので、変えてみました。違いはいかがでしょうか。(佐藤) ▼2022日音協 SONGの推薦曲4曲が決まり、総会において演奏もされました。音楽運動紙上でも楽譜を紹介しようと思ったのですが、スペースの関係で断念しました。▼全応募作品集は支部会員には支部宛て、個人会員・機関紙読者には中央から郵送します。活用願います。(佐藤) ▼失言を繰り返す議員と掛けて／頑丈な建物の材料と解く／そのココロは／コウテツ(更迭・鋼鉄)が必要でしょう(飯島)

どん行

(161)

飯島貞親

な問題の核心が少しも明らかにならないのは、民主主義国家とは呼ばない。

中東での戦争の時に夜間の閃光に對して「花火のようだ」と形容したアナウンサーがひんしゆくをかったことがある。報道した人は閃光の下で逃げ惑う民衆の悲惨さを想像できなかったのだろう。花火と言えは、沖縄の年輩者の中に「今でも花火は嫌いだ。閃光が頭から離れない」と語る人がいる。▼税金と年貢の違いはなんだろうか。年貢は殿様が自由に使えるが、税金は使途を明らかにしなければならぬ一応の建前がある。時代ともに民主化がすすんだ結果なのだろうが、森友や防衛費などは大きく外れている。自治体での入札の際に予定価格を漏らす不正が報道されるが、森友学園での国有地パターゲンに比べれば爪の垢。もちろんどちらも許されることではないが、自殺者までだしている大事件なの問題の核心が少しも明らかにならないのは、民主主義国家とは呼ばない。